

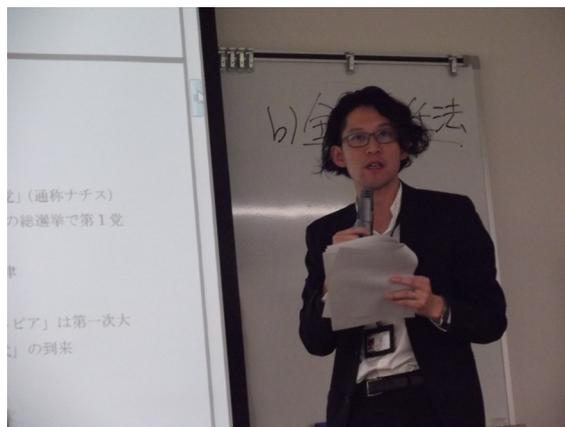
# ヨーロッパ社会論

担当教員： 桑田 学

履修年次・区分： 3～4年（専門－展開－共生・開発）

授業のテーマ： 近現代ヨーロッパ世界の制度とその思想の特質を理解し、歴史的・批判的に相対化する視点を身につける。また、現代のヨーロッパ世界が直面している諸問題を歴史的・思想的な視点から理解し分析する力を身につける。

この日の授業内容： <全体主義>の時代と思想



二つの世界大戦に挟まれた時代に、歴史的に大きな意義を持つ3つの事件、ロシア革命（1917）、世界大恐慌（1932）、ナチス・ドイツの成立（1933）が起きました。これらは、近代が内包していた矛盾が爆発したものと捉えることができます。

資本主義を否定する世界初の革命がロシア革命です。世界大恐慌で急速に経済状況が悪化して不安定になったドイツではナチスが登場します。それまで近代が目指してきた自由主義的ユートピアがリアリティを喪失し、「全体主義」…個人の全ては全体に従属すべきとする思想または政治体系の1つ…の時代が到来します。

(2017年11月取材)